

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名 ダイキョーニシカワ株式会社

上場取引所

亩

コード番号 4246

URL https://www.daikyonishikawa.co.jp/

代 表 者(役職名)代表取締役社長

(氏名) 杉山 郁男

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 松尾 拓典 (TEL) 082-493-5610

半期報告書提出予定日 2025年11月6日 配当支払開始予定日 2025年12月4日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高	<u>.</u>	営業利	益	経常利	J益	親会社株主 する中間線	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	81, 697	△2.2	4, 835	△15.1	5, 235	△1.8	3, 895	19. 7
2025年3月期中間期	83, 499	7. 8	5, 692	32. 8	5, 333	15. 5	3, 254	10. 3

(注)包括利益 2026年3月期中間期 451百万円(△93.0%) 2025年3月期中間期 6,463百万円(34.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円銭
2026年3月期中間期	55. 76	_
2025年3月期中間期	45. 76	_

(2) 連結財政状態

(- / X2 (A X) A X (X)			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	158, 463	87, 075	53. 3
2025年3月期	154, 554	89, 949	56. 5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 84,523百万円 2025年3月期 87,337百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円銭	円銭	円 銭		
2025年3月期	_	17. 00	_	19.00	36. 00		
2026年3月期	_	19. 00					
2026年3月期(予想)			_	19. 00	38. 00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	<u> </u>	営業利	益	経常利	益	親会社株主 する当期		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162, 000	△3.9	7, 900	△21.0	8, 100	△16.4	6, 200	△4. 6	89. 68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表した予想から修正しております。詳細は本日公表の「2026年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中	70, 997, 800株	2025年3月期	73, 896, 400株
間期			
2026年3月期中	2 712 402 14	2025年3月期	2, 754, 608株
間期	2, 713, 492休末	2023年3月期	2, 754, 000称
2026年3月期中	69, 856, 827株	2025年3月期中	71, 120, 580株
間期	03, 030, 027称	間期	71, 120, 360作末

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、後日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1.	当中間決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2.	中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
	中間連結損益計算書	6
	中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
	(セグメント情報等の注記)	. C

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当中間連結会計期間 (2025年4月1日~2025年9月30日) の業績につきましては、売上高は累計では減収となりました。米国では顧客生産台数の増加と外装部品の新規受注に伴い売上が堅調に推移しましたが、日本での主要顧客の生産台数減少により、全体では前年同期と比べ1,802百万円 (2.2%) 減少の81,697百万円となりました。営業利益は、コスト改善活動の成果が着実に現れている一方で、減収影響、退職給付数理計算上の差異及び持続的成長を見据えた人的資本投資の増加により、前年同期と比べ856百万円 (15.1%) 減少の4,835百万円となりました。経常利益は、前年同期と比べ97百万円 (1.8%) 減少の5,235百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期と比べ641百万円 (19.7%) 増加の3,895百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

日本では、主要顧客の生産台数が減少したことにより、売上高は前年同期と比べ3,557百万円(6.6%)減少の50,018百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は、コスト改善活動の成果が着実に現れている一方で、減収影響、退職給付数理計算上の差異及び持続的成長を見据えた人的資本投資の増加により、前年同期と比べ2,323百万円(64.9%)減少の1,256百万円となりました。

(北米)

北米では、メキシコでの顧客生産台数と要具売上の減少による減収はありましたが、米国の顧客生産台数増加と外装部品の新規受注に伴う売上の増加により、売上高は前年同期と比べ1,920百万円(8.2%)増加の25,203百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は、メキシコでの減収影響はありましたが米国の増収効果とメキシコの為替影響により前年同期と比べ902百万円(47.4%)増加の2,807百万円となりました。

(アセアン)

アセアンでは、タイの顧客生産台数減少がありましたがインドネシアの顧客生産台数と要具売上の増加により、 売上高は前年同期と比べ37百万円 (0.7%) 増加の5,244百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は、タ イの減収影響とインドネシアでの開発費の一括計上等により前年同期と比べ49百万円 (15.6%) 減少の269百万円と なりました。

(中国・韓国)

中国・韓国では、韓国での家電領域における設計事業の新規売上はありましたが、中国での要具売上の減少により、売上高は前年同期と比べ1,079百万円(22.4%)減少の3,743百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は、中国での要具売上の減収影響により前年同期と比べ172百万円(76.6%)減少の52百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

当中間連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ3,908百万円 (2.5%) 増加し、158,463百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ6,782百万円(10.5%)増加し、71,387百万円となりました。主な要因は、長期借入金及びリース債務が増加したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ2,873百万円 (3.2%) 減少し、87,075百万円となりました。主な要因は、為替換算調整 勘定が減少したことによるものであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末と比較して10,931百万円(45.5%)増加し、34,931百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10,091百万円の収入(前年同期は6,874百万円の収入)となりました。主な要因は、法人税等の支払いによる支出1,357百万円があった一方で、税金等調整前中間純利益5,216百万円及び減価償却費5,085百万円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,210百万円の支出(前年同期は1,188百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出3,608百万円及び無形固定資産の取得による支出805百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,605百万円の収入(前年同期は5,765百万円の支出)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出2,451百万円、自己株式の取得による支出1,999百万円及び配当金の支払額1,345百万円があった一方で、長期借入れによる収入11,000百万円及びセール・アンド・リースバックによる収入2,643百万円があったことによるものであります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
産の部		
流動資産		
現金及び預金	30, 922	41, 93
電子記録債権	2, 666	2, 4
受取手形	_	
売掛金	28, 093	27, 5
契約資産	751	5
商品及び製品	2, 443	1, 3
仕掛品	1, 163	1, 2
原材料及び貯蔵品	4, 639	4, 7
未収入金	281	2
その他	2, 175	2, 3
貸倒引当金	△41	\triangle
流動資産合計	73, 097	82, 3
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29, 499	27, 4
機械装置及び運搬具(純額)	22, 978	20, 7
工具、器具及び備品(純額)	2, 443	2, 5
土地	12, 367	12, 3
リース資産 (純額)	2, 661	4, 2
建設仮勘定	5, 893	3, 4
有形固定資産合計	75, 843	70, 6
無形固定資產	1, 555	2, 1
投資その他の資産		
投資有価証券	1, 480	1, 6
繰延税金資産	1, 077	8
退職給付に係る資産	28	
その他	1, 472	7
投資その他の資産合計	4, 058	3, 2
固定資産合計	81, 457	76, 1
資産合計	154, 554	158, 4

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	180	214
支払手形及び買掛金	23, 232	23, 046
短期借入金	1, 550	1, 500
1年内返済予定の長期借入金	5, 052	5, 704
リース債務	1, 589	2, 429
未払金	4, 614	3, 178
未払費用	1, 444	1,518
未払法人税等	959	622
契約負債	772	592
賞与引当金	2, 241	2, 213
製品保証引当金	52	50
設備関係支払手形	24	
設備関係電子記録債務	47	6
その他	1, 270	1, 47
流動負債合計	43, 031	42, 61
固定負債		
長期借入金	18, 106	24, 56
リース債務	724	1, 61
退職給付に係る負債	1,894	1, 79
役員退職慰労引当金	2	
株式報酬引当金	3	
資産除去債務	170	16
繰延税金負債	121	10
その他	551	51
固定負債合計	21, 573	28, 76
負債合計	64, 605	71, 38
屯資産の部		
株主資本		
資本金	5, 426	5, 420
資本剰余金	10, 573	8, 82
利益剰余金	65, 302	66, 50
自己株式	△3, 996	$\triangle 2,87$
株主資本合計	77, 306	77, 87
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	9
為替換算調整勘定	9, 944	6, 51
退職給付に係る調整累計額	65	40
その他の包括利益累計額合計	10, 031	6, 64
非支配株主持分	2, 611	2, 552
純資産合計	89, 949	87, 07
負債純資産合計	154, 554	158, 463

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	83, 499	81, 697
売上原価	71, 709	70, 861
売上総利益	11, 789	10, 835
販売費及び一般管理費	6, 097	6,000
営業利益	5, 692	4, 835
営業外収益		
受取利息	190	160
受取配当金	25	21
持分法による投資利益	18	0
為替差益	_	344
補助金収入	_	118
開発中止補償収入	1, 317	77
その他	94	101
営業外収益合計	1,646	825
営業外費用		
支払利息	710	364
開発中止費用	862	0
為替差損	425	_
その他	5	58
営業外費用合計	2,004	424
経常利益	5, 333	5, 235
特別利益		
固定資産売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除売却損	28	20
特別損失合計	28	20
税金等調整前中間純利益	5, 311	5, 216
法人税等	1, 859	1, 236
中間純利益	3, 452	3, 979
非支配株主に帰属する中間純利益	198	83
親会社株主に帰属する中間純利益	3, 254	3, 895

中間連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	3, 452	3, 979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△338	70
為替換算調整勘定	3, 549	$\triangle 3,602$
退職給付に係る調整額	△254	△23
持分法適用会社に対する持分相当額	54	26
その他の包括利益合計	3, 011	△3, 527
中間包括利益	6, 463	451
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6, 098	510
非支配株主に係る中間包括利益	364	△59

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5, 311	5, 21
減価償却費	5, 614	5, 08
株式報酬費用	12	
貸倒引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 0$	
賞与引当金の増減額(△は減少)	△365	\triangle :
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	1	
製品保証引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 1$	Δ
退職給付に係る資産負債の増減額	17	Δ
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△19	
受取利息及び受取配当金	△215	$\triangle 1$
支払利息	710	3
持分法による投資損益(△は益)	△18	Δ
固定資産除売却損益 (△は益)	21	
補助金収入	$\triangle 5$	Δ1
売上債権の増減額(△は増加)	$\triangle 2,254$	
棚卸資産の増減額(△は増加)	△441	6
仕入債務の増減額 (△は減少)	1, 329	5
その他	△294	Δ
小計	9, 402	11, 4
利息及び配当金の受取額	219	1
利息の支払額	△716	△3
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	$\triangle 2,353$	$\triangle 1, 3$
補助金の受取額	305	1
補償金の受取額	16	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,874	10, 0
と 資活動によるキャッシュ・フロー		·
定期預金の純増減額(△は増加)	1, 216	2
長期預金の預入による支出	△210	
長期預金の払戻による収入	1, 052	
有形固定資産の取得による支出	△2, 954	$\triangle 3, 6$
有形固定資産の売却による収入	7	,,
無形固定資産の取得による支出	△282	△8
無形固定資産の売却による収入	0	
その他	△17	Δ
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1, 188	$\triangle 4, 2$
†務活動によるキャッシュ・フロー		,-
長期借入れによる収入	<u> </u>	11, 0
長期借入金の返済による支出	$\triangle 3,025$	$\triangle 2, 4$
セール・アンド・リースバックによる収入	58	2, 6
リース債務の返済による支出	$\triangle 1,567$	$\triangle 1, 2$
自己株式の取得による支出	∆0	$\triangle 1, 9$
配当金の支払額	△1, 231	$\triangle 1, 3$
財務活動によるキャッシュ・フロー	$\triangle 5,765$	6, 6
是金及び現金同等物に係る換算差額	1,411	$\triangle 1, 5$
金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1, 330	10, 9
金及び現金同等物の期首残高	32, 123	23, 9
L业人 O 元 平日 寸70 ツガ 日 2人回	33, 453	34, 9

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 自己株式の取得

当社は、2025年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同 法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、2025年5月14日から2025年8月25日(約定ベース)の期間で自己株式を取得しました。これにより当中間連結会計期間において自己株式を2,898,600株取得し1,999百万円増加しました。

(2) 自己株式の消却

当社は、2025年9月22日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、2025年9月30日付で自己株式を2,898,600株、3,072百万円消却しました。

この結果、資本剰余金が1,732百万円、利益剰余金が1,340百万円、自己株式が1,072百万円それぞれ減少し、当中間連結会計期間末における資本剰余金は8,820百万円、利益剰余金は66,506百万円、自己株式は2,876百万円となっています。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前中間純利益または税引前中間純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	40 th 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				(平位・日の11)
	報告セグメント			合計	
	日本	北米	アセアン	中国・韓国	口印
売上高					
製品売上	47, 917	22, 271	5, 005	2,748	77, 942
要具売上	2, 783	932	123	1,092	4, 931
その他売上	423	61	10	129	625
顧客との契約から生じる収益	51, 124	23, 264	5, 139	3, 970	83, 499
外部顧客への売上高	51, 124	23, 264	5, 139	3, 970	83, 499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2, 452	18	67	852	3, 390
計	53, 576	23, 283	5, 206	4, 822	86, 889
セグメント利益	3, 579	1, 904	319	225	6, 029

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差 異調整に関する事項)

(単位:百万円)

	(+12 + 17 17
利益	金額
報告セグメント計	6, 029
セグメント間取引消去	△337
中間連結損益計算書の営業利益	5, 692

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				→
	日本	北米	アセアン	中国・韓国	合計
売上高					
製品売上	45, 330	23, 479	4, 703	2, 713	76, 227
要具売上	2, 651	1,618	425	48	4, 744
その他売上	469	103	27	126	725
顧客との契約から生じる収益	48, 451	25, 201	5, 156	2, 887	81, 697
外部顧客への売上高	48, 451	25, 201	5, 156	2, 887	81, 697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1, 566	2	88	855	2, 512
計	50, 018	25, 203	5, 244	3, 743	84, 209
セグメント利益	1, 256	2, 807	269	52	4, 387

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差 異調整に関する事項)

(単位:百万円)

	(単位・日刀円/	
利益	金額	
報告セグメント計	4, 387	
セグメント間取引消去	447	
中間連結損益計算書の営業利益	4, 835	